令和６年度　廿日市市立地御前小学校　学校評価自己評価表　（中間）

学校教育目標　『 主体的に学び　他と協働しながら解決していく児童の育成 』
「自分で考えよう」「自分で選ぼう」「仲間と進めよう」
目指す児童像　○自分で考え行動し　仲間とともに高まる子
目指す学校像　○地域とともにに歩み　感謝する心が育つ学校
目指す教職員像　○協働して　誠実に職責を果たす教職員

評価
S:目標を大きく上回った（目標値＋５％以上）　A：目標達成（目標値～＋４％）
B：ほぼ達成（目標値±３％）　C：もう少し（－４％～９％）　D：できていない（－１０％以

評価計画

中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標値	担当	結果	評価（中間）	今後に向けて
確かな学力の定着 主体的な学びの推進	主体的に課題に取り組み，自己調整しながら学習する児童の育成 （市共通項目）	○主体的な学びの推進 ・児童自身が，自己決定・自己選択し，自分のペースで進める学習計画表の充実 ・自己調整につながる振り返り	・単元末テストにおいて，「知識及び技能」の正答率が85%以上の児童の割合	85%	教務・研究	「知識及び技能」の正答率が85%以上の児童の割合は75%であった。自由進度学習を行った単元においては，他の単元よりも高い数値が出ている学級もあった。これは，教材研究を丁寧に行い取り組んだことや，個別指導を充実させた成果であると考える。しかしながら学習して理解した知識・技能が十分定着できるまでには到っていない。	D	・今後も学年団を中心に複数の者がチームで関わり，教材を吟味し単元開発を行っていく。 ・事前のレディネス・テストなどから，児童のつまずきを捉え，分析をしたり，手立てを講じたりしていくとともに，個に応じた指導の充実を行っていく。
			・児童アンケートにおいて，「学習計画表などを使って自分で考え，進んで学習を進めたり振り返ったりしている」児童の割合	85%		「自分で考えて学習を進めたり振り返ったりする」と回答した児童は92%であった。自由進度学習に取り組み始め，教員の意識も変わりつつある。自由進度学習でなくとも，１時間の授業の中で選択課題を用意し，児童への自己選択・自己決定する場面を取り入れたり，児童自らが考えて場を工夫できるような授業を取り入れたりして，児童の学びに向かう姿勢が見えてきている。	S	・自由進度学習の単元開発を全学年実施する。 ・自由進度学習以外でも自己選択・自己決定する場面を取り入れることを意識し，主体的に学び，自己調整できる児童の育成を目指していく。 ・次に生かすような振り返りの活用に取り組む。 ・自分で考え，進んで学習を進めていくことを学習場面以外（学校行事，特別活動，生活場面など）でも意識する。
豊かな心の育成	相互評価や自己の振り返りにより自己有用感を高める児童の育成	○自己有用感の向上 ・各教科，特別活動，総合的な学習の時間，掃除等における異学年交流の推進	・児童アンケート「ペア学年や異学年交流では，自分なりに人のために役立つことができた」児童の割合	80%	生徒指導	児童アンケートで肯定評価は91%と目標の80%を上回った。 これは，ペア学年での掃除を重点的に取り組むんだことの成果だと考えられる。４～６年生は，下学年を指導や支援することで有用感を高め，１～３年生は，上級生の指導や支援によってできることが増える喜びを感じながら有用感を高めていると考えられる。 また，運動会では，ペア学年で「いいところ見つけ」のカード交換をし，教室に掲示した。相手意識をもって，学校行事に取り組み他学年からの評価を受け取ることで自己有用感の向上につながっている。	S	今後も，ペア学年や異学年の交流を実施していきたい。 ・ペア学年掃除 ・ペア学年遠足 ・ペア学年や異学年での学習成果の交流 ・ペア学年や異学年の遊び時間の交流 などを計画している。 また，交流後は，相手学年への感謝や賞賛の気持ちを言葉で伝えたり，手紙を送り合ったりして，より自己有用感を高めていく。
健やかな体の育成	各種運動の基礎となる走力の向上	○「走の運動遊び」を取り入れた授業改善 ・「走り方教室」の実施 ・職員研修の実施	・年度当初に計測した50ｍ走の記録を上回る児童の割合	80%	保健体育	走力の向上に関する学校評価アンケートで肯定的な回答は，児童91%，保護80%，教職員68.2%であった。 教職員の評価が低かったが，走力を高めるための取組を２学期の授業で行えるように，夏休みに教職員対象に体育実技研修（走運動）を実施した。		・１１月に走り方教室を実施する。 ・一人一人に自分の50m走の記録カードを渡し，意欲をもって取り組めるようにする。 ・１１月・２月に50ｍ走の記録をとり，記録カードに書き込ませる。自分の走りへの取組や課題，改善等を考えさせることにより，次の目標に取り組めるように指導する。